

平成29年度東京都立清瀬高等学校 経営計画

## 1 目指す学校

- (1) 教育活動の根本に人間尊重の精神を置き、基本的な生活習慣を身に付けた互敬を体現できる人材を育成する学校。
- (2) 教科指導を充実させ、生徒が掲げる高い進路目標を実現させる学校。
- (3) 学校行事や部活動を重んじ、感動や忍耐、友情を高め合う体験を重ねさせ、あきらめずに最後までやり抜く態度を育成する学校。
- (4) 体罰・いじめなどの発生防止の徹底と特別支援教育の整備に取り組み、保護者や地域から信頼される学校。

## 2 中期的目標と方策

- (1) 生徒の第一希望を実現するために、組織的、全校的に指導に当たり安定的に高い進学実績に結びつけられる進路における指導体制を確立する。
- (2) 学習の基礎・基本を定着させ、高い学力を身に付けるために授業力の向上に努め、きめ細かい学習指導を展開する。
- (3) 社会の一員として、自律心のある生徒を育成するために服装、挨拶、礼儀等規範意識の指導に力を入れる。
- (4) スポーツ特別強化校として、部活動全般の活性化を図り、体力向上と心と体の健康を促進する。
- (5) 総務部を中心とした組織的広報活動を展開し、本校の教育活動を保護者はじめ、地域・中学校等へ計画的かつ適時に発信していく。

## 3 今年度の取組目標と方策

### (1) 教育活動の目標と方策

#### ①学習活動

- ア 生徒の進路希望に合わせ、3年間の教科指導計画を策定する。また、教科会を活用し、授業担当者で、綿密な共通理解を図り、内容・指導レベル等について質・量とも適切な授業を教科として提供する。さらに、定期考査等でも共通問題を奨励し、評価の平等性・統一化を図る。
- イ 「学力スタンダード」に対応した年間授業計画を作成するとともに、明確な目標に基づいた指導と評価を行うことで、指導内容・方法の改善を図る。
- ウ 生徒の基礎学力の定着を図り、進路に応じた授業内容を展開する。
- エ 土曜講習を生徒のニーズに合わせ、受講者の増員を図る。長期休業日の講習も主要5教科の教員が全身体制をとり、生徒の進路希望別の講習を提供する。特に、第一志望の進路実現に向け、着実に力をつけられるよう、組織的・計画的な講座を提供する。
- オ 予習・授業・復習の指導を徹底するとともに自習室等の学習環境を整備し、自学の習慣を定着させる。また、土曜日を中心に大学生によるチューターを活用し自主学習を促進する。
- カ 習熟度別授業を英語(2,3年)と国語(古典)(2,3年)及び、数学(1年)で実施し、主要3教科の指導効果を上げる。また、定期的に生徒の学力を計測し、クラス替えを行うことで、生徒の学習に対する緊張感を維持し、効率的な授業展開を推進する。
- キ OJTとして教科内外を問わず、授業参観を全教員で実施し、教員相互の授業力の向上を図る。また、指導教諭等、他校の授業を積極的に見学し、教科指導方法の改善に努める。
- ク オリンピック・パラリンピック教育を推進し、体力の向上に努めるとともに、世界の多様な国々の歴史や文化を学ぶとともに、留学生や外国人、海外の学校等との交流を促進し、豊かな国際感覚を養う。

#### ②進路指導

- ア GMARCHといわれる大学を中心とした生徒の第一希望校合格を目指し、進路指導部が主導的立場で、各学年と連携を図りながら、組織的な進路指導の充実を図る。
- イ 三年間を見通した進路指導計画と、全教職員による模試結果分析会による学力推移の把握及び指導、二者、三

者面談を通してのきめ細かな指導により第一志望への進路実現を図る。

ウ 全学年、適切な時期に模擬試験を実施するとともに、その後の振り返り学習を徹底する。

エ 進路指導部からの講話や大学のオープンキャンパスや訪問授業等を活用し生徒の進路に対する意識を高める。

### ③生活指導

ア 社会人として身に付けておくべき、礼儀やマナーを重点的に指導し、生徒の自律心を磨き、国際的にも通用する社会性を高める。

イ 遅刻指導、頭髪指導、制服指導については、生活指導部が中心となり、学年・家庭と連携し、組織的、継続的に取り組んでいく。

ウ 時間厳守を徹底し学習と部活動等との両立ができる文武両道のけじめのある生活習慣を確立させる。

エ 生徒一人一人に、学習活動・部活動・学校行事においてバランスの取れた高校生活を経験させ、生徒の主体性を育む。

オ 儀式、始業式、終業式等において、校歌指導を行うことにより、学校への帰属意識や生徒・教職員間の連帯意識を高める。

カ 道徳の指導を充実させ、奉仕や思いやりの心と公共心を育成し、健康で安全な生活に必要な能力と態度を育てる。特にいじめは絶対に許さない心情と態度を養う。また指導時の体罰を根絶する。

キ 災害時等に対する教職員の危機管理意識の向上を図り、生徒自らが自己の安全を確保できるよう指導し、合わせて地域社会への共助、貢献する心を育てる。

### ④特別活動・部活動

ア 生徒の委員会主体で運営できる組織的な学校行事を維持し、活性化を図る。

イ 生徒会を中心に特別支援学校との交流等を行い、障害のある児童・生徒との交流を通じ、多様性の尊重、障害者理解といった心のバリアフリーを育てる。

ウ 1, 2年生全員による読書感想文コンクールや書評合戦を実施し、読書活動を推進する。

エ スポーツ特別強化校として、ソフトテニス部及び少林寺拳法部の一層の強化を図るとともに、他の部活動についても活性化を図る。

オ 部活動顧問も生徒の学力の把握を定期的に行い、クラス担任や教科担任と協力し、生徒の学力向上の支援に努める。学業を疎かにせず、礼儀や規律を重んじる学校生活の励行により、他校の範となるべき生徒の育成を行う。

カ 文化・スポーツ等特別推薦の実施により、部活動の活性化を図る。また、その生徒の学校生活を定期的に確認することにより、文化・スポーツ推薦の成果を全教員で検証・共有する。

### ⑤健康・安全

ア 学校保健計画に基づき、保健委員会が中心となって生徒の健康の保持増進を図り、安全確保を徹底する。

イ 教育相談室の機能をより充実させ、生徒の心と身体の悩みに対応し、いじめ等の問題行動を防止するとともに、生徒の精神的自立に向けた取り組みを推進する。

ウ 環境美化を重視し、教職員が率先してごみの分別、リサイクルや清掃活動を行い、生徒へ環境保全についての啓蒙を行う。

エ 都の改修計画を見据えながら、経営企画室が中心となった施設・設備の老朽化対策を行う。

オ 薬物乱用防止教室、セーフティ教室、救急救命講習会等を活用し、自他ともに命の大切さについて考えさせる。

### ⑥広報活動

ア ホームページの更新を頻繁に行うことで、本校の教育活動をタイムリーに発信し、中学生やその保護者、本校保護者や地域の方々の理解と信頼を得る。

イ 総務部が中心となり、全教職員協力の下、学校説明会や学校見学会等で広報活動を行う。

ウ 地域や近隣中学校、校外での出前授業、説明会、塾訪問等校外への広報活動を積極的に行う。

エ 地域社会や中学校と部活動や生徒会活動等で連携し、地域に密着した教育活動を行う。

### ⑦学校運営

ア 本校の特色を整理した上で、将来に向けた学校体制を検討し、教育活動の改善を進める。

イ 企画調整会議の内容の周知を徹底し、全教職員が同一の方向に向かった教育活動を行う。

ウ 教科会、教科主任会、主幹教諭会議や拡大分掌会を開催し、組織的・継続的な学校運営を行う。

エ 経営企画室による学校経営参画を進め、企画室職員と教員が連携した学校運営を推進する。

オ OJTを活用した人材育成を浸透させ、管理職候補者、主幹教諭、主任教諭の育成に努め、ライン強化を行う。

- カ 体罰防止、服務事故防止及び個人情報の管理についての意識を高め、組織的に安全管理を実施する。
- キ 災害時の緊急対応を教職員に周知させ、防災訓練を複数回実施するなど生徒の安全確保に万全を期す。また、日頃より節電・省エネルギーを学校全体で実施する。
- ク あじさいウィーク、学校開放事業、奉仕活動、防災活動等を通して地域や保護者と連携した開かれた学校づくりを推進する。

## (2) 重点目標と方策 ( ) 内数値は H28 実績

### ①学習指導—組織的、計画的な教科指導の充実

- ア 教科主任を中心とした組織的な教科経営を図る。
- イ 生徒が能動的に授業に参加し活動できる授業方法の改善を図る。
- ウ 生徒の自学習慣を定着させる。

【数値目標】 1、2年生の自学時間：休日を含む1日の平均1時間30分以上（1年1.14、2年1.42）  
授業満足度：85%以上（83.1%） 長期休業中の開講講座数80講座以上（65講座）

### ②進路指導—国公立、私大難関大学等第一志望校への進学実現

- ア 進路指導部を中心として1年生から進路意識の向上を図り3年間の組織的、計画的な進路指導を図る。
- イ 模試分析会、出願検討会等を充実させ、生徒個人に沿った進路指導を行う。
- ウ 個人面接等を丁寧実施し生徒が高い目標に対してあきらめずに努力できる指導を継続する。

【数値目標】 国公立、難関私立大学現役合格者数：12名以上（9名） GMARCH 現役合格者数：90名以上（78名）

### ③生活指導—自律した生活習慣の確立

- ア 時間の自己管理ができ、けじめのある生活習慣を身に付けさせる。
- イ 挨拶の励行、服装、礼儀、言葉遣い、交通安全の指導を通年で行う。

【数値目標】 生徒の学校生活満足度：90%以上（87.3%） 交通事故：0件  
年間遅刻者数：900回以下（1005回）

### ④特別活動・部活動—気力、体力の充実と向上及び学習と部活・行事との両立

- ア 自主的な行事の企画、実施、参加を通して生徒の社会性を養う。
- イ 言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするため読書活動を推進する。
- ウ 部活動に集中力をもって組織的に参加させ達成感、充実感が得られるよう指導する。

【数値目標】 図書貸出数：2100冊（1385冊） 部活動参加者数：98%以上（96%）  
部活動都ベスト32以上の成果：10部（9部）

### ⑤健康・安全—校内の学習環境の整備と生徒の健康の保持増進

- ア 心と体の両面から生徒の健康管理に努め、生徒の精神的自立を促す。
- イ 自分たちが生活している学校美化に努めさせ、感謝の気持ちを養う。

### ⑥広報活動—清瀬高校の教育活動、魅力を広く紹介するための広報活動の充実

- ア 本校の求める意欲ある生徒を確保するために広報活動を充実させる。

【数値目標】 ホームページ更新回数年間：120回 学校説明会参加者数：2700人（2560人）  
入試倍率：推薦3.00倍以上（2.81倍） 一般1.40倍以上（1.32倍）

### ⑦学校運営

- ア 本校独自の特色を再認識し、教育活動をより効果的なものにするための組織的な学校運営体制の再構築を行う。
- イ 経営企画室と教員との連携を強化し、経営参画意識を高める。